

生理学セミナー2017

FRONTIERS in
Medical Science Seminar Series #104

総合医科学研究センターセミナー

2017年11月1日(水) 13:00-14:45

場所: 慶應義塾大学 信濃町キャンパス 総合医科学研究棟1階ラウンジ

参加自由(無料)/お申し込み:不要/使用言語:英語

博士課程「幹細胞医学」「生理学実習」受講指定セミナー⑦

Yadong Huang, M.D., Ph.D.

Director, Gladstone Center for Translational Advancement

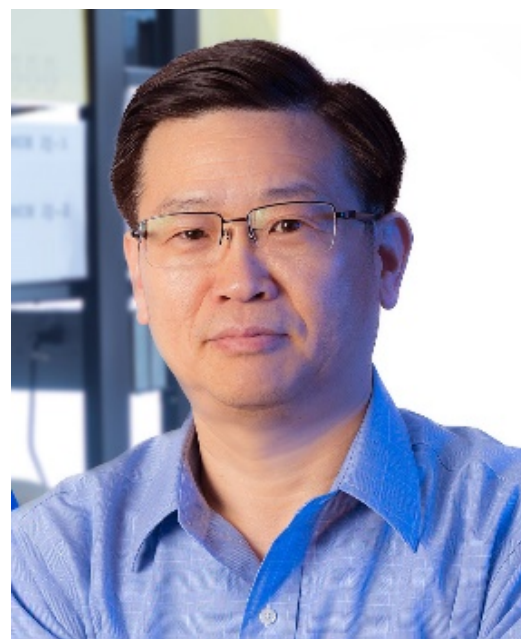
Senior Investigator, Gladstone Institute of Neurological Disease

Professor of Neurology and Pathology University of California, San Francisco

**13:00-14:00 ApoE4 and Alzheimer's Disease:
Mechanisms and Therapeutic Strategies**

**14:15-14:45 Translation of Biomedical
Research into a Start-Up Company**

ApoE4という全人口の20%以上が持つ遺伝子型は、アルツハイマー病発症リスクを上げる事が知られています。Huang教授は、その病態形成メカニズムの研究を20年以上続けており、今までにApoE4は他のApoE3などの型と比べ、断片化しやすい事、それらのApoE断片は神経毒性が高い事、また、それらの断片化はApoE4の発現量の高いアストロサイトではなく、神経細胞において起こる事、これらの病的カスケードにおいては、従来から言われていたAβだけではなく、タウタンパク質も重要な役割を担う事などを次々と発見されています。これらのメカニズムを、マウスモデルやhiPS細胞など多様な材料を用いて、光遺伝学などの最新の手法を応用する事により、明らかにされてきました。また、そのような病的メカニズムを学術雑誌にて発表するのみならず、バイオベンチャーを立ち上げる事によって、アルツハイマー病患者に治療法として届けるところまで踏み込んでおられます。今回のセミナーでは、Scientificな話に加えて、バイオベンチャーを立ち上げた、Huang教授ご自身の経験についてもご紹介頂きます。是非皆様、奮ってご参加ください。



主催: 慶應義塾大学医学部 生理学教室教授・医学研究科委員長: 岡野栄之 Coordinator: 前田純宏 (生理学 助教)
共催: 慶應義塾大学 総合医科学研究センター センター長: 松尾光一 (細胞組織学 教授)
お問い合わせ: 慶應義塾大学医学部生理学教室 03-5363-3747